



# ほのぼの



センター専属キャラクター  
こころちゃんとゆたかちゃん

## 新センター長ご挨拶



認知症疾患医療センター  
センター長

谷内 弘道

私は、節目の年に大きな変化が起こる巡りあわせにあるようです。平成元年に旭川医科大学で精神科医としてスタートをし、2000年に大学病院を離れて故郷の函館に戻って富田病院でもの忘れ外来を開設し、このたび50歳という自分の年齢を機に亀田北病院に赴任いたしました。そして、同院でも認知症疾患医療センターのセンター長をさせていただくことになりました。今後は亀田北病院の認知症疾患医療センターの良い点を継承しつつ、これから徐々に新しいスタイルの認知症疾患医療センターを築いていく構想を抱いています。地域の医療・介護・福祉スタッフの皆様には、これまでと同様にご理解とご協力をいただき、これまで以上に連携を強化させていただきたいとも思っております。最後になりましたが、私の勤務先の移動によって、前勤務先に通院されていた多くの患者さんとそのご家族に多大なご迷惑をお掛けしたことを心からお詫びしたいと思います。今後とも亀田北病院の認知症疾患医療センターを何卒宜しくお願い申し上げます。





まるまる

# 「認知症の〇〇」



昨年度より始めました認知症の〇〇コーナー。

今年度始めは「認知症の治療薬」についてお話しします。

2010年までは『アリセプト』というコリンエステラーゼ阻害薬のみが販売、処方されていましたが、2011年春より新しく3剤が承認を受けました。そのため、現在は全部で4剤の認知症治療薬が用いられています。

- ① **アリセプト**～脳内の神経伝達物質であるアセチルコリンを分解する酵素の働きを抑えることにより、記憶障害、同じことを繰り返す、判断ができにくくなるなどの認知症状が進行するのを遅らせます。

通常1日1回3mgを服用することから開始し、徐々に増量し、副作用を見ながら、最高値は10mgまで増量することができます。

主な副作用として食欲不振、嘔気・嘔吐、下痢などの消化管症状や、興奮、不穏などが報告されています。



- ② **レミニール**～アリセプト同様に脳内のアセチルコリンを分解する酵素の働きを抑えるお薬です。軽度～中等度の認知症と診断された方に有効です。元気が出てくることが多いお薬で、1日2回服用します。

副作用で1番多いのは消化器症状で、嘔気・嘔吐・食欲不振、下痢、腹痛などを起こしやすいです。



- ③ **リバスタッチ・イクセロンパッチ**～上記2薬同様にアセチルコリンを分解する酵素の働きを抑えるお薬です。違いは上記2薬が飲み薬なのに対し、このお薬は皮膚に貼るタイプのお薬です。錠剤や粉剤の呑み込みがうまく出来ない高齢の人に有益です。有効成分が皮膚からゆっくり吸収されるため、飲み薬で良くみられる不快な消化器症状の軽減が期待できます。また、1日1回貼るだけなので、介護者の負担も軽減されるでしょう。

逆に皮膚に直接貼るタイプのため、使用部位が赤くなったりかゆくなることもあるので、同じ場所に貼り続けるのはやめましょう。



- ④ **メマリー**～上記3薬とは違った作用秩序を持つお薬のため、併用が可能です。中等度から高度のアルツハイマー型認知症と診断された方に有効です。怒りっぽいのを抑える効果が期待できます。

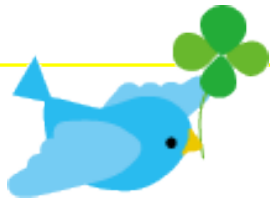
副作用には便秘やめまいが挙げられます。



※どのお薬も用法・用量を守り、患者の変化（副作用の出現等）を見逃さないことが大切です。

次回は「認知症の若年化」についてお話しします





# 活動報告



## スタッフ紹介

はじめまして、坂井まどかです。4月1日より  
亀田北病院認知症疾患医療センターの一員になり  
ました。

札幌から引っ越してきたばかりで、わからない  
ことがたくさんありますが、早く仕事を覚えてみ  
なさんのお力になれたらと思っております。

よろしくお願い致します。



## 家族会

2月28日に家族会を開催いたしました。  
今回は、センター長が認知症の治療について  
で、講演いたしました。

わかりやすい内容で、最新の治療なども知  
ることが出来、とても勉強になりました。

今年度参加頂いたご家族の皆様お疲れ様  
でした。参加希望のご家族は是非ご一報下さ  
い。



## 地域向け介護講座

今年度最後の地域向け介護講座が、3月  
18日に行われました。今年度に行われた  
内容を振り返りつつ、皆さんで色々なお話  
をする機会となりました。

来年度も、皆様のお役に立てるような講  
座や場所作りをしていきますので、皆様ご  
参加下さい。





# お知らせ



## ほのぼの会(地域向け介護講座・家族会)

開催日:平成 26 年 4 月 25 日(金)  
 時間 :14:00~15:00  
 内容 :オリエンテーション

開催日:平成 26 年 5 月 23 日(金)  
 時間 :14:00~15:00  
 内容 :DVD 鑑賞会

今年度より、家族会と地域向け介護講座がひとつになり「ほのぼの会」を開催いたします。毎回テーマが変わり、茶話会の時間も設けております。参加希望の方は、認知症疾患医療センターへご一報下さい。



## 出前講座のご案内

認知症疾患医療センターでは、認知症の疾患・治療・予防・介護など、認知症に関する様々な出前講座を開催しております。皆様の地域で、認知症について気軽に相談できる場所として、日頃の疑問を解決できる機会に是非ご利用していただければと思っております。

認知症疾患医療センターの医師・看護師・精神保健福祉士・臨床心理士が無料で講座をいたします。ご要望のある方はご一報いただければと思います。

## 編集後記

4月になり、ようやく雪が解け、草花も芽吹き陽気な日が増えてきました。

道南認知症疾患医療センター(渡辺病院、富田病院、亀田北病院)も今年度は『支え合い連携手帳』を紹介して、少しでも安心して医療に関われるような取組みをしていきたいと思っております。

今年度も『ほのぼの』を楽しんで頂ければ幸いです。

季刊誌担当 藤村・坂井・川崎



【発行元】

医療法人 亀田病院 分院 亀田北病院  
 認知症疾患医療センター

〒041-0802

函館市石川町 191 番地 4

センター専用フリーダイヤル

0120-010-701

FAX専用ダイヤル

0138-46-5505

ホームページ

URL

<http://www.hakodate-kameda-hp.com>